

# 宮崎の風

宮崎公民館だより No.161  
発行日：令和5年12月1日  
発行：宮崎公民館  
千葉市中央区宮崎2-5-22  
電話：263-5934  
館長：桶田智弘

## 楽しく歌って Power of Smile (パワーオブスマイル)

聴くと元気になる！

一緒に歌うと楽しくなる！！

締切 令和6年1月5日(金)

日時 令和6年1月27日(土)

13:30~15:30

対象 どなたでもOK!

定員 抽選で40人

費用 無料



## はじめての味噌づくり

～ 大豆から味噌を作ってみよう ～

令和6年1月13日(土)13:00~15:00

14日(日) 9:00~13:00

会場 宮崎公民館 2階 調理実習室

参加費 2,800円 出来上がりは1人当たり6kg位

持ち物 味噌を入れる10ℓ程度の容器・漬物用20ℓ袋ほか

定員 抽選8名(成人) ※両日参加可能な方

締切 12月15日(金)



## 講座の申し込み方法

① 窓口：宮崎公民館 2階窓口(年末年始を除く、9:00~17:00)

② メール：必要事項(講座名、日程、氏名、お住まいの区、年齢・学年、電話番号)を明記してoubo.miyazaki@ccllf.jp または右の二次元コードを読み取って申し込み。

③ 応募フォーム：宮崎公民館 HP 下記リンクまたは右下の二次元コードを読み取り。  
<https://chiba-kominkan.jp/chuo/miyazaki>

問い合わせ 宮崎公民館 ☎043-263-5934 (9:00~17:00)





## 赤ちゃんのための防災教室

11月20日(月)に、本館サークルの子育てサロンさんと共催で「赤ちゃんのための防災教室」を開催しました。

千葉市防災対策課の須崎先生を講師に、地震が起きた時のことを中心にお話をいただきました。地震が起きる前の準備や揺れた時の対処、避難所への避難と分散避難などについて、教えていただきました。特に、千葉市の備蓄品には赤ちゃん用のものが少ないため、とっさの時のミルクの飲ませ方や、おしめの代用、緊急時に困らないためのローリングストック等についても知ることができました。

参加者の皆さんからは、「日頃の備えが大切だと知りました」「自宅に帰ったら備蓄用品を準備します」などの感想をいただき、十分に学習していただけたようでした。



## 蘇我 DE ボッチャ 2023

11月23日(木)に、蘇我コミュニティセンターさんと共催で、恒例になりつつある「蘇我 DE ボッチャ 2023」を行いました。

12チームが3チームずつ4コートに分かれ、それぞれのコートでリーグ戦を行い、コートごとの優勝を決めていきました。下は幼稚園に通うお子さんから上は80代の方、障害がある方にもご参加いただき、楽しい2時間を過ごしました。

参加者からは、「子供、大人、障害者揃って楽しめました」「初めてのボッチャだったが、優しく教えていただき、楽しかった」などの感想をいただき、盛況のうちに終わることができました。協力してくださった OPEN ちばの皆さん、淑徳大学のボランティアの皆さんにも感謝申し上げます。



## シューレーンを作ろう!

11月26日(日)に「シューレーンを作ろう!」を行いました。

最近巷でも目にすることが多くなってきたドイツ菓子シューレーンを、千葉光の国産産園パン製造部指導員の北爪裕二・直美両先生に教わりながら、手づくりしていきました。発酵に時間がかかるため、待ち時間にフィンランシェを作ったり、事前に作ってきたシューレーンと一緒に味見したりと、皆さんで楽しむことができました。

参加者の皆さんからは、「これまでの憧れのシューレーンを作るとてもうれしかった」「先生ご夫妻のご指導もとても分かりやすかった」などのご意見をいただき、好評のうちに終わることができました。



## 理科好き館長の

## 水やりタイム



先日、本館主催事業「シューレーンを作ろう」を行った際、20年ほど前に行ったドイツへの旅行のことを思い出しました。

8月初旬だったのですが、夕食を食べても明るいため、時計を見たところ21:00を過ぎていました。サマータイムであるにしても遅くまで明るいことを不思議に思いました。

フランクフルトは、北緯50度にあり、ヨーロッパでは、パリやロンドンと同じ緯度です。日本は最北の稚内でも北緯45度なのでさらに北となります。そのために夏は昼の時間が千葉あたりよりも2時間ほど長く16時間25分となります。また、逆に冬至のころは2時間ほど短く8時間5分です。

ちなみに、世界で赤道に一番近い首都であるエクアドルのキトは、1年中昼も夜もほぼ12時間なのだそうす。

ヨーロッパの主要都市は、冬は夜が長いようです。だからこそ、夜を楽しむクリスマスを大切にしてきたのかむしれませぬ。